

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	認知症サポーター養成事業		
事業担当	福祉部 高齢福祉課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心できる生活を支援する	
	'01	1 総合的なサービスを展開する地域ケア体制を充実する	
根拠法令等	介護保険法		
対象・受益者	一般市民	事業期間	～ 平成27年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりが行われています。		認知症高齢者対策を推進するため、養成講座を開催し、認知症サポーターを養成します。また、養成講座修了者に対して育成事業にてフォローアップの講座を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	認知症サポーター養成講座開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	54	65	73		
活動指標②	指標名	認知症サポーター養成講座修了者の育成事業実施回数(平成27年度から)			単位	回
	説明・算定式	延べ回数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績			12		
成果指標①	指標名	認知症サポーター養成数			単位	人
	説明・算定式	累計人数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	8,236	10,252	12,407		
成果指標②	指標名	認知症サポーター養成講座修了者の育成事業への参加者数(平成27年度から)			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績			34		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
認知症サポーター養成講座修了者に対して、地域での活動(サロン等)を視野にいれた育成事業を開催しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	認知症高齢者が増加する中、認知症サポーターを増やし、身近で見守ることにより、認知症高齢者と家族が安心して在宅生活を続けることができるようにするために必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	認知症サポーター交流会を実施して認知症サポーターの意欲を高め、活動を継続できるように働きかけることにより認知症高齢者と家族への支援を充実することができることから、有効性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	認知症高齢者が増えていくことから、認知症サポーターの養成・育成は妥当性が高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	民間においても実施が可能であり、民間活力を活用することにより高い効率性が期待できます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析				
—				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		認知症サポーター養成講座、認知症サポーター地域交流会の開催	認知症サポーター養成講座、認知症サポーター地域交流会の開催	認知症サポーター養成講座や認知症教室、認知症ケアバスの普及
財源内訳	国庫支出金	59	102	244
	県支出金	29	51	122
	起債	0	0	0
	その他 特財	31	54	135
	一般財源	29	52	124
事業費 (A)		148	259	625
執行率 (%)		92.50	92.50	67.42

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針	—
課長コメント	—